

東京日々新聞

（庚）

三百九二號

滝田幾右衛門

一萬
幾右衛門



轉々堂鈍々記

民親愛を教る孝
善い莫ふふ氷上
鯉魚と獲雪中ふ筆を
抜く古き教を固守て
老母が長き病は
食料湯薬二便
の看護聊も他人の
手と借に至まり
尽せし其うそふ快
暗の日の脊負ふて遊歩し
母の喜ぶ体を見く吾が
第一の歡樂とす而して多年
も一日の如く未だ秋浅き
季候るも氷と食せん
以望むや教里と阻る
長沼山の溪間深く下りて
僅み氷と索得つ母と與へ孝子の
之を福島縣下岩代の國岩瀬郡
鏡沼村乃農氏より賃金若干
賜りたり

東京日々新聞 3 2 2 号 文庫10-8059-4

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library